

国語科学習指導略案

6年3組 36名 指導者 上原孝夫

本授業では、以下の検証を行うものである。

「関連付ける」思考スキルを活用し、カフェ方式を取り入れた「学び合い」を設定することは、相手意識や目的意識を明確にした言語活動の手立てとして有効であったか。

1 単元 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう「ようこそ、わたしたちの町へ」

2 指導計画（総時数12時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
課題をつかむ	1 私たちの町のよさを考えたり、パンフレットを作る目的を話し合ったりして、学習課題を設定する。	1
	2 実際のパンフレットなどを読み、学習計画を協議する。 見て楽しい！読んで伝わる！「田上パンフレット」を作ろう。 【関：自分の町のよいところを見付け、パンフレットにまとめる活動に意欲をもっている。】 【書：パンフレットの特徴を理解し、パンフレット完成までの見通しをもっている。】	1
情報を基に読み取る	3 パンフレットの構想を練り、編集内容を決める。	1 (本時)
	4 必要な情報を集める。	2
	5 集めた情報や材料を整理し、パンフレットの構成を考え、目次作成と割り付けを行う。	1
	6 効果的な表現や構成を考えて下書きを書く。	2
	7 下書きを読み返し、推敲する。 【書：読み手にとって分かりやすい構成を考え、読み手を引き付ける効果的な表現を取り入れながら記述している。】 【書：構想、取材、構成、記述、推敲の場面で交流し合い、よりよい作品にするために、互いに意見を交換している。】 【言：町のよさを効果的に伝えるパンフレットの構成の仕方を理解している。】 【言：読み手に分かりやすく伝えるために、適切な語句を選択している。】	2
主体的に表現する	8 丁寧な文字で清書し、パンフレットを仕上げる。	1
	9 完成したパンフレットを読み合い、感想を交流する。 【書：パンフレットの内容と表現についてよさを見付け、考えを進んで交流しようとしている。】	1

3 本時（3／12）

(1) 目標

パンフレットの構想を練り、編集内容を決めることができるようにする。

(2) 評価規準

相手や目的、課題を明確にしなが、よさが伝わる題材を選定している。 【書く能力】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、学習計画表やこれまでのノート等を参考に、前時までの学習を振り返ることができるようにする。また、様々なパンフレットを提示しながら、パンフレット作成への意欲を高めるようにする。

「調べる」過程では、まず、パンフレットのモデル文と編集方針シートを提示し、「見える図」を活用しながら関連付けさせることで、題材を選ぶ視点に気付くことができるようにする。その際パンフレットのページ数を意識した題材の数の大切さに気付くことができるようにする。次に、ワールド・カフェ方式で意見交換を行わせることで、グループでパンフレットの構想を練ったり、違うグループのメンバーと情報を共有してアイデアを広げたりすることができるようにする。その際、編集方針を拠り所として題材を選定していることを確認したり、いろいろな友達の意見を聞くことで多様なものの見方・考え方があることに気付いたりすることができるようにする。

「まとめる・生かす」過程では、振り返る視点を明確にすることで、多面的に学習内容を振り返ったり、200字程度のまとまった分量を書いたりすることができるようにする。また、学習計画表等を用いることで、次時の学習への見通しをもつことができるようにする。

(4) 本時の展開 □ 重点化するスキル [] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	7	1 前時までの学習を振り返る。 (・ 早くパンフレットを作りたいな。 ・ よさを伝えるために、どの題材を選ぼうかな。) 2 本時のめあてを確認する。 「田上パンフレット」には、どのような題材を選べばよいだろうか。 3 教師の補説を聞き、学習の進め方に見通しをもつ。 (・ たくさんの人に読んでもらえるパンフレットを完成させたいな。 ・ たくさん題材があるから迷うな。) 4 題材について話し合い、編集内容を決定する。 関連付ける (1) モデルを元に、題材の選び方を考える。 【みんなで：7分】 (・ グループの編集方針をもう一度確認したいな。ぴったりの題材はどれかな。) (2) 編集方針を決定し、題材を考える。 【一人で：7分】 (・ 教育実習の先生に読んでもらいたいから、給食のことを書こうよ。) (3) 題材について話し合い、3つ程度の内容を選ぶ。 【新グループで：8分】 (・ 教育実習の先生に読んでもらいたいから、9月と10月の行事にしようよ。) (4) グループで話し合ったことを、カフェ方式で意見交換を行う。 【元グループで：8分】 (・ パンフレットに載せる順番も、よく考えた方がいいね。) 5 本時の学習を振り返る。 「田上パンフレット」の題材は、 ○ 相手、目的、課題に合わせた内容 ○ よさが伝わるような内容 を選べばよい。	○ 持ち寄ったパンフレット等を展示しておき、単元のゴールとなる言語活動(パンフレット作成)への意欲を高めるようにする。 ○ 学習計画表やこれまでのノート等を参考に、前時までの学習を振り返ることができるようにする。 ○ パンフレットの題材を事前に考えさせておくようにする。 ○ 構想をしっかりと練ることで、パンフレット完成までのプロセス(取材、構成、記述、推敲)がスムーズに進むことを確認する。 ○ 2つのモデル文と編集方針シートを提示し、「見える図」で関連付けさせることで、題材を選ぶ視点に気付くことができるようにする。 ※ 相手や目的、課題を明確にしながら、よさが伝わる題材を選定している。(ノートの記述の観察・発表) ○ 題材を選定することができる子どもには、題材の具体的内容を考えさせるようにする。 ○ 題材を選定することができていない子どもには、ヒントカードを提示し、題材を選ぶことができるようにする。 ○ カフェ方向に取り入れ、多様な考えにふれさせることで、題材を選ぶ視点の大切さに気付くことができるようにする。 ○ 学習のまとめを行わせる際には、200字程度で書かせるようにする。 ○ 振り返る視点として、内容(分かったこと、問いをもったこと)、思考方法、協働的な学び合い、主体的な取組、自分の体験との重なりを五つを提示することで、本時の学習を多面的に振り返ることができるようにする。 ○ 学習計画表やノート等を参考に、次時は取材を行うことを確認する。また、必要な準備等を事前に行っておくことで、学習がスムーズに進むことを伝えるようにする。
調べる	30		
まとめる・生かす	8	6 学習のまとめを行う。 (・ 相手や目的を意識することが大切だということが分かった。 ・ どのグループも、編集方針にぴったりの題材を選んでいて、同じ題材でも、伝え方が変わってくるのだろう。) 7 次時の学習を確認する。 (・ 1年生に「あさひ子グループ」のよさを伝えたいので、アンケートを取ってみたいな。	